

記号	分野別	事業名	部会名	事業実施による効果(コメント)		これまでの成果・課題・方策など(コメント)	方向性
				判定			
I	地域づくり	区長会先進地視察研修	地域づくり	○	自治会活動などの課題解決策や新たな取り組みを見出す。	区未加入者対策やエコ活動、防災活動などの先進事例を学ぶことができ、少しずつだが、地区振興会活動などにも取り入れている。	○
I	地域づくり	区加入促進に関する検討	地域づくり	△	より多くの住民が一体となった地域づくり活動を展開するとともに、自治会活動の活性化を図る。	市総務課とも話し合いを実施。各区での取り組みに限界を感じており、新たな取り組みの展開までには至っていない。	○
I	地域づくり	クリスマス・イルミネーション	地域づくり	◎	多くの人たちに心の癒しを与え、楽しんでもらうとともに、賑わいの場をつくり、地域の活性化を図る。	地域住民などから大変好評を得ている。今後は、飾り付け方などの工夫が必要。	○
I	地域づくり	老人クラブ先進地視察研修	地域づくり	○	老人クラブ活動などの課題解決策や新たな取り組みを見出す。	他地域の活動などについて視察し、良い刺激を受けている。また、良い交流の機会にもなっている。	○
I	地域づくり	生ゴミリサイクルによる元気なまちづくり	地域づくり	○	家庭ゴミ(生ゴミ)の減量を図るとともに、地域住民の交流を深める。	参加者が熱心に取り組み、一定の成果を得た。虫がわき取り組みを断念する人がいたり、材料購入の難しさがあったりすることが課題。	○
I	地域づくり	らくらく教室	地域づくり	○	北地区在住の女性の親睦と融和、地区振興会活動への参画を図る。	地域づくりや健康、生ゴミ削減などをテーマに研修等を実施。この研修等の成果が各区に広がっていかないことが課題。	○
I	地域づくり	北地区大運動会	地域づくり	◎	北地区住民の健康増進と体位の向上、親睦と融和を図る。	一大イベントとして、数多くの住民が交流する良い機会となっている。課題は競技内容のマンネリ化。	○
I	地域づくり	地域リーダー養成事業	地域づくり	○	地域づくりのリーダーを養成することにより、地域づくり活動をより一層推進し、地域の活性化を図る。	各区長を中心に、まちづくり研修事業などに参加。一般住民からのリーダー発掘が課題となっている。	○
I	地域づくり	各種サークル活動	地域づくり	○	各サークル会員の教養・文化をさらに高めるとともに、健康づくりや仲間づくりを図る。	体育系22・文化系11のサークルが、積極的な活動を展開している。	○
I	地域づくり	地区振興会だより発行	地域づくり	○	地域の重要なお知らせや身近な話題などを、北地区の多くの世帯に周知することができる。	毎月1回、約3,700部を作成し、北地区の区加入世帯などに配付。各種情報の周知を図っている。	○
I	地域づくり	ホームページ管理	地域づくり	○	地区振興会だよりで紹介できない地域の情報や地区振興会の活動内容などを広く周知することができる。	毎月1回程度更新。地域の情報や地区振興会だよりなどを掲載し、地区内外に各種情報の周知を図っている。	○
IV	健康福祉	青壮年ミニバレーボール大会	健康増進	○	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	参加チームは増えているが、すべての区からの参加までには至っていない。	○

記号	分野別	事業名	部会名	事業実施による効果(コメント)		これまでの成果・課題・方策など(コメント)	方向性
				判定			
IV	健康福祉	青壮年スローピッチソフトボール大会	健康増進	○	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	参加チームは増えているが、すべての区からの参加までには至っていない。	○
IV	健康福祉	青壮年グラウンドゴルフ大会	健康増進	○	青壮年会会員の親睦と融和、体力づくりを図る。	毎年40人程度は参加しているが、若年層の参加が少ない。	○
IV	健康福祉	老人大学	健康増進	◎	高齢者の教養をさらに高めるとともに、健康づくりや仲間づくりを図る。	さまざまな学習内容により、毎回、参加者も多い。高齢者の良い交流の機会にもなっている。	○
IV	健康福祉	北地区グラウンドゴルフ大会	健康増進	◎	高齢者相互の親睦と融和、体力づくりを図る。	毎回、参加者も多く、高齢者の健康増進や交流にもつながっている。	○
IV	健康福祉	女子ソフトバレーボール大会	健康増進	△	北地区住民(女性)の親睦と融和、体力づくりを図る。	参加チームの力の差やマンネリ化などもあり、参加チーム数が少なくなっている。	○
IV	健康福祉	北地区ウォークラリー	健康増進	○	地域の魅力の再発見につなげるとともに、北地区住民の親睦と融和、体力づくりを図る。	毎年150人程度が参加。コースの範囲が限られており、コース選定に苦慮する。	○
IV	健康福祉	北地区ミニバレーボール大会	健康増進	◎	北地区住民の親睦と融和、体力づくりを図る。	平成23年度から前回大会の成績に応じてクラス分けを行い、大会を実施。参加者にも好評である。	○
IV	健康福祉	敬老会	福祉生活	◎	多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝う。	各区ごとに、趣向を凝らした敬老会を実施しており、一定の成果を得ている。	○
IV	健康福祉	命のバトン事業	福祉生活	◎	高齢者が病気等により自宅で倒れているときなどに、迅速な対応を図る。	1~2人暮らしの高齢者や障がい者などにバトンを配付。利用者にも安心感が出るなど大変好評。今後は対象者が増加する見込み。	○
V	青少年育成	こま回し体験教室	子ども育成	○	昔の遊びを楽しみながら、子どもたちへの伝承と、地域住民(民生委員)との交流を図る。	平成24年度まで北小学校4年生を対象に実施。こまの材料不足や講師の高齢などにより実施が難しくなっているため、内容の見直しが必要。	△
V	青少年育成	地区対抗球技大会	子ども育成	○	児童相互の親睦と融和を図るとともに、運動技能の向上や体力づくりに役立てる。	子どもたちの生き生きとしたプレーが、各区の盛り上がりにもつながった。全区の子ども会からの参加を期待したい。	○
V	青少年育成	地区対抗駅伝大会	子ども育成	○	児童相互の親睦と融和を図るとともに、運動技能の向上や体力づくりに役立てる。	平成23年度から、会場を大矢崎緑地公園に変更し、大変な盛り上がりを見せている。	○

記号	分野別	事業名	部会名	事業実施による効果(コメント)		これまでの成果・課題・方策など(コメント)	方向性
				判定			
V	青少年育成	ふれあいフェスタ	子ども育成	○	児童相互の親睦と融和や、教育環境の充実を図る。	多くの児童・住民の参加を得ている。今後は、他事業との連携により、北地区全体の祭りの催しとすることができないか検討したい。	○
V	青少年育成	家庭教育講演会	子ども育成	○	未来を担う子どもたちの健全育成や、家庭教育力の向上を図る。	さまざまな分野から講師を招いて、貴重な話を聞くことができた。予算の範囲内での講師選定に限界がある。	○
V	青少年育成	資源物回収活動	子ども育成	○	生徒相互の親睦と融和を図るとともに、教育環境の充実を図る。	生徒と保護者が協力し合いながら活動することができた。空きびん・空き缶に加え、古紙の回収も検討していきたい。	○
V	青少年育成	子ども育成講演会	子ども育成	○	子どもを取り巻くさまざまな問題の解決と、青少年の健全育成を図る。	さまざまな分野から講師を招き、意義深い講演会を実施することができた。参加者が少ないことが課題。	○
V	青少年育成	小学生料理教室	子ども育成	○	子どもたちが自分で料理を作って、食べることができるようになる。	メニューの内容などにより参加者が多いとき、少ないときがあるが、継続的な参加がある。	○
VI	環境整備	北地区クリーン活動	環境整備	◎	区民としての自覚の高揚、住民相互の親睦と融和や、環境の美化、環境意識の高揚などを図る。	数多くの住民が参加し、一定の成果を得ている。実施時期やゴミ処理の方法などについて検討が必要。	○
VI	環境整備	ツツジで彩る景観づくり	環境整備	◎	快適で住みよいまちづくりの推進と、景観の維持管理活動による住民相互の親睦と融和を図る。	今釜・広瀬の両区民がそれぞれ年3回、広瀬川両岸に咲くツツジの維持管理活動を行い、美しい景観が保たれている。	○
VI	環境整備	青壮年・清掃奉仕活動	環境整備	○	青壮年会会員の親睦と融和、地域の環境美化を図る。	毎年70人程度が参加。今後は公園内の除草作業のほかに、市街地のゴミ拾いも実施予定。	○
VI	環境整備	高齢者・清掃活動	環境整備	○	老人クラブ会員の親睦と融和、地域の環境美化を図る。	多くの高齢者が参加し、地域の環境美化が図られている。若い人たちも、積極的に奉仕活動を実施してほしい。	○
VII	その他	防災訓練	生活安全	○	区民の防災意識の向上と、災害に対する連携強化、被害の軽減を図る。	平成24年度から実施。防災訓練に初めて参加する住民も多く、防災意識の向上などにつながったと思われる。参加者が少なかったことが課題。	○
VII	その他	防犯パトロール 「地域みまもり隊」	生活安全	△	地域住民の防犯意識の高揚を図るとともに、子どもたちの安全を確保し、犯罪を未然に防止する。	地域内の犯罪等の防止につながっている。活動内容などを再検討し、取り組みの充実を図りたい。	○
VII	その他	地域安全マップ	生活安全	◎	地域の危険箇所や避難場所の位置などを把握することができる。また、地域住民の防災意識の向上を図る。	マップは全戸配付。標高を加えるなどして、住民からも好評を得ている。ある程度の予算が必要となるが、3～5年に1度は発行したい。	○

